

第3章 介護サービス等の状況と評価

第3章 介護サービス等の状況と評価

1 要介護（要支援）認定及び介護サービス利用状況

(1) 要介護（要支援）認定の状況

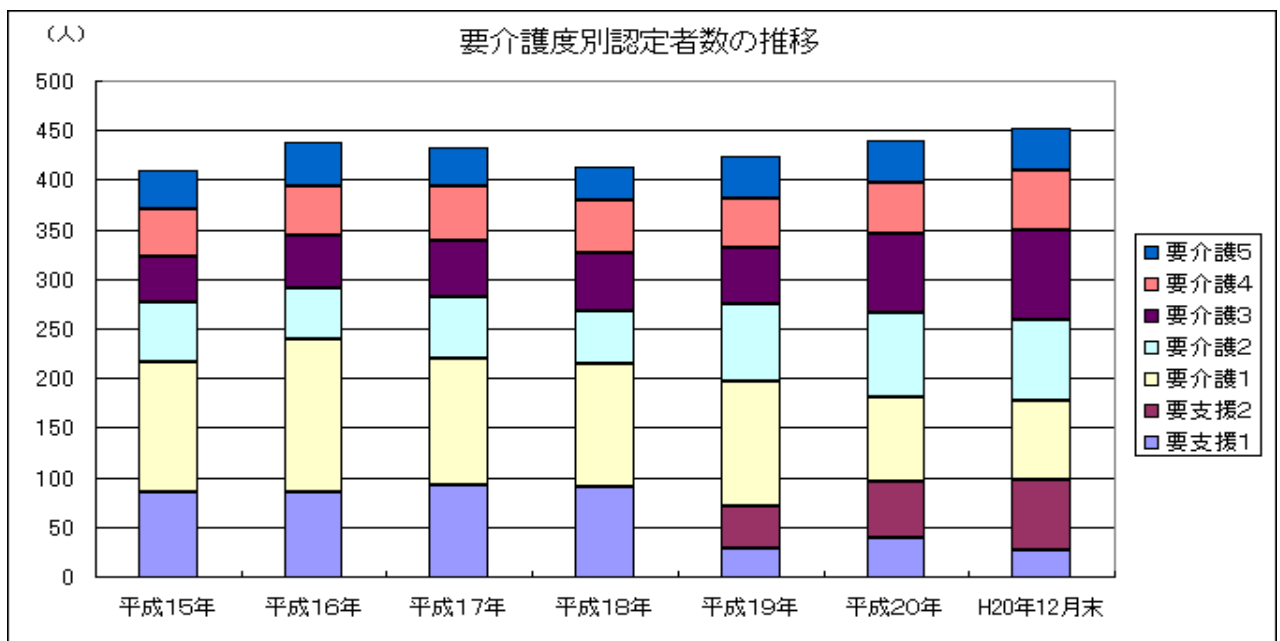
過去3年間の認定者数は、平成18年3月末現在で414人、平成19年3月末現在で423人、平成20年3月末現在で440人、直近の平成20年12月末現在では453人と増加する傾向にあります。

また、認定率も平成18年3月末時点で17.8%だったものが平成20年12月末現在で19.3%と急速に増加しています。

(各年3月末現在、単位:人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
平成15年	85		132	59	46	48	40	410
平成16年	85		154	52	53	49	45	438
平成17年	93		126	63	56	55	39	432
平成18年	90		125	52	59	54	34	414
平成19年	28	43	125	78	57	51	41	423
平成20年	39	57	85	85	80	51	43	440
H20年12月末	27	71	80	81	90	60	44	453

平成15年～18年までは要支援1、2の区分がなかったため要支援者数は要支援1に区分した。



(2) 介護サービス利用状況（在宅・施設）

在宅介護サービス利用状況

在宅介護サービスの利用状況としては、通所介護の利用率がもっとも高く59.0%、続いて訪問介護30.8%となっており在宅サービスの中心となっています。

平成18年6月より町内に小規模多機能型居宅介護事業所が開設され現在24名の利用があります。

また、全体的に在宅サービスを利用する者が増加している傾向にあります。

在宅サービス種類別利用人数（サービス利用率の分析）

サービス名	平成18年度		平成19年度		平成20年度	
	利用人数 (人)	利用率 (%)	利用人数 (人)	利用率 (%)	利用人数 (人)	利用率 (%)
訪問介護	67	30.9	64	27.4	84	30.8
訪問入浴	2	0.9	1	0.4	1	0.4
訪問看護	11	5.1	14	6.0	14	5.1
訪問リハビリ	0	0.0	0	0.0	3	1.1
通所介護	147	67.7	145	62.0	161	59.0
通所リハビリ	8	3.7	12	5.1	15	5.5
福祉用具貸与	53	24.4	62	26.5	80	29.3
居宅療養管理	6	2.8	3	1.3	3	1.1
短期入所	22	10.1	23	9.8	22	8.1
小規模多機能	0	0.0	22	9.4	24	8.8
グループホーム	17	7.8	19	8.1	21	7.7
特定施設	1	0.0	1	0.4	2	0.7
実人数	217	-	234	-	273	-

資料：介護保険事業実績分析報告書

施設サービス利用状況

平成18年から3年間の施設入所者数は、平成18年10月末現在で102人、平成19年10月末現在で95人、平成20年12月末現在で90人と徐々に減少する傾向にありますが、今後中部地区内の施設数が増える見込みがないことから現状で推移するものと思われます。

施設サービス利用人数

区 分		平成18年度	平成19年度	平成20年度
介護老人福祉施設	(人)	73	66	63
介護老人保健施設	(人)	29	29	26
介護療養型医療施設	(人)	0	0	1
合 計	(人)	102	95	90

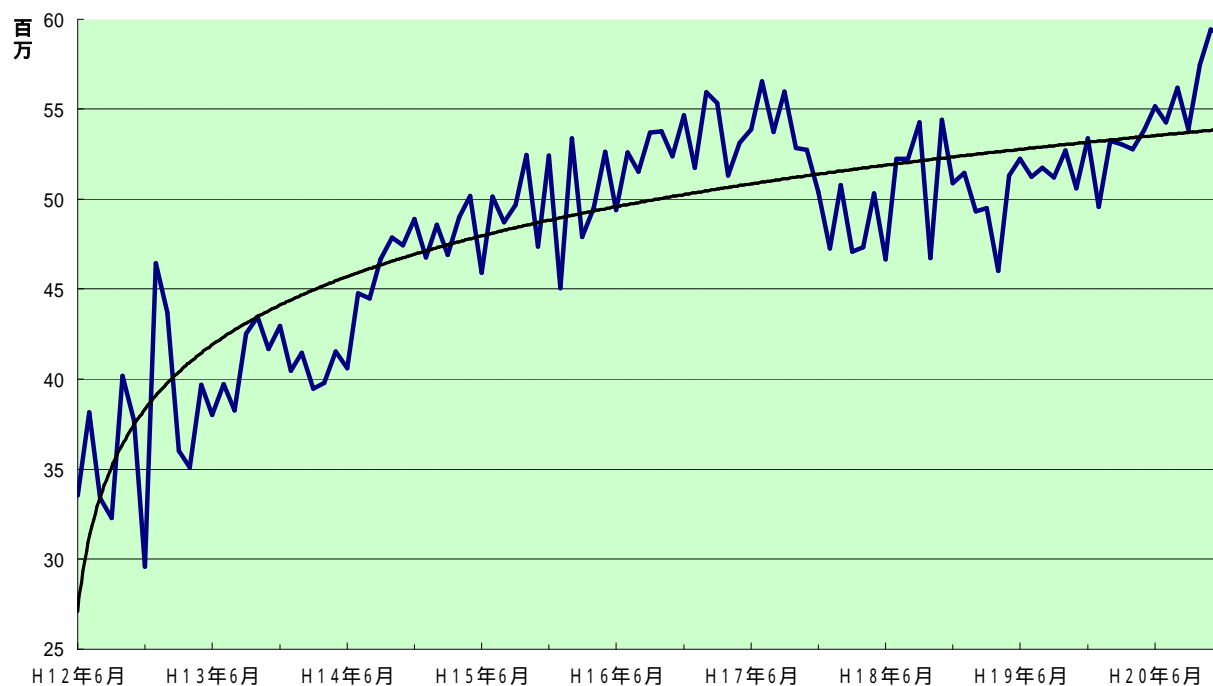
(3) 介護サービス給付費の状況

介護サービス給付費の推移

介護保険施行の平成12年度から平成20年度までの介護サービス給付費は右肩上がりで伸びており、特に平成20年10月より大幅に増加しています。

介護サービス給付費の推移(百万円)

「介護サービス給付費推移」(H12年6月からH20年12月請求分)



介護サービス別給付の割合

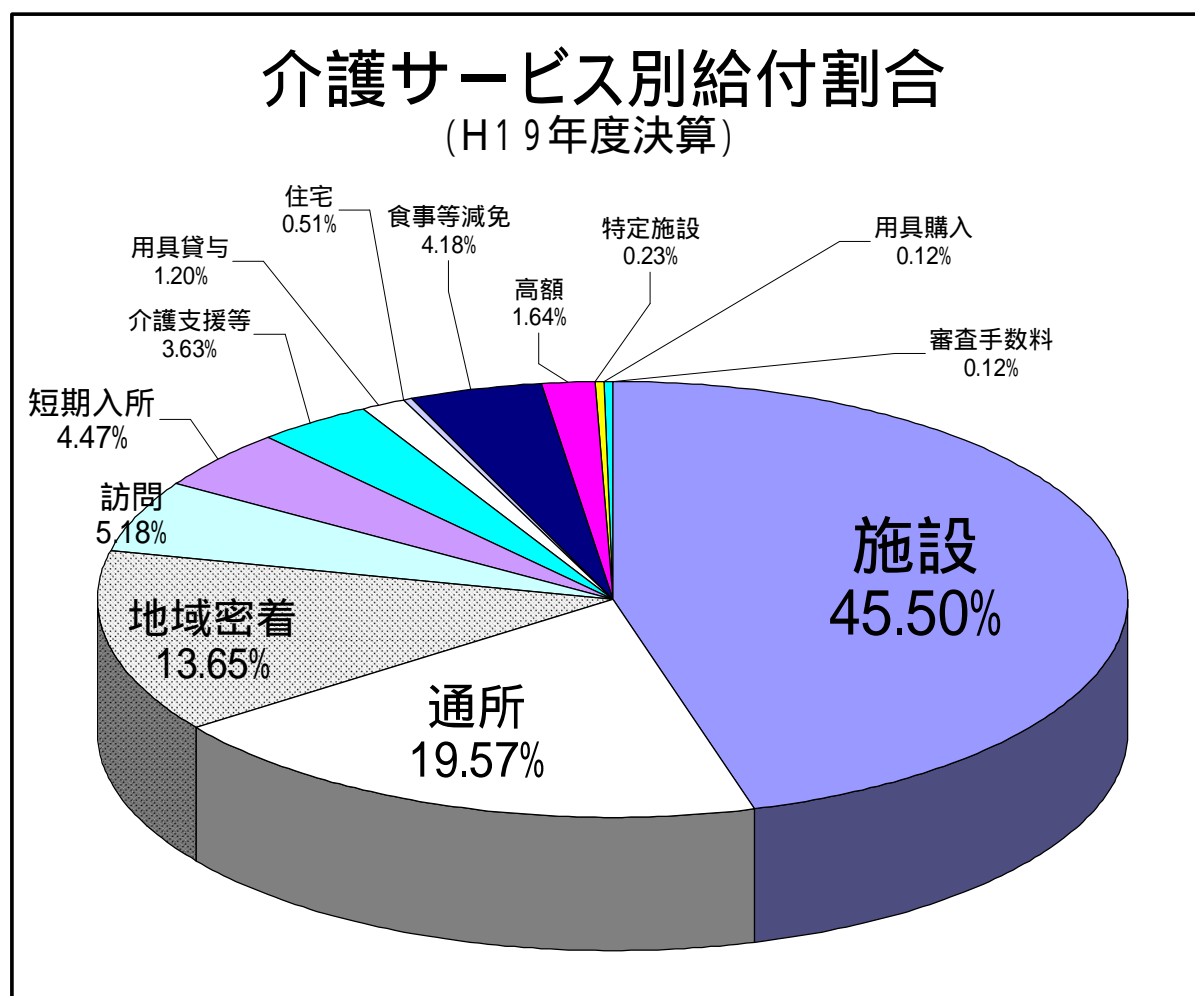
平成19年度決算の介護サービス給付費の割合は、施設給付費が最も多く45.5%、続いて通所サービス給付費19.57%、地域密着型介護サービス給付費13.65%となっています。

平成15年度から平成17年度の3年間の割合と比較してみますと施設給付費の60.12%に対し平成19年度決算45.5%、通所・訪問系25.24%に対して平成19年度決算24.75%、地域密着型系7.29%に対して平成19年度決算13.65%となっています。

このことから単純に比較はできませんが、施設給付費の割合が約15%減少し、地域密着型サービス給付割合が2倍に上昇するなどサービス別給付割合に変化が見られます。

このことは平成18年6月に小規模多機能型居宅介護施設「なの花」が開設し、本町から24名の利用者があったことに伴い施設入所することなく在宅での生活を送ることにより介護保険利用したことが割合の変化をもたらした一因だと考えられます。

介護サービス別給付の割合 (%)



2 介護保険対象サービス

(1) 居宅介護・予防サービス

訪問介護（ホームヘルプサービス）

【現状・評価】

訪問介護とは、ヘルパーが訪問し、排泄、入浴、食事などの身体介護や、調理、掃除、生活相談などの生活援助を行うサービスです。

本町にある事業所では、町社会福祉協議会が、現在常勤3人、非常勤7人のホームヘルパー体制（平成21年2月現在）で事業実施しています。

実績としては、平成18年度の年間延べ利用回数は7,764回となっており、同じく平成19年度は8,136回、平成20年度は9,523回（見込）となっています。

ヘルパー利用者数及び利用回数は一時減少ぎみでしたが、ここ数年は徐々に実績が増えてきている傾向にあります。

訪問介護サービスの利用実績

（単位：回）

区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度
利用延回数（回）	7,764	8,136	9,523
	72	144	189

（ 上段：居宅介護・下段：居宅予防・平成20年度は見込み）

訪問入浴介護

【現状・評価】

訪問入浴は、入浴設備や簡易浴槽を備えた移動入浴車で、看護師、介護士が訪問して、入浴介助を行うサービスです。

今現在、本町に事業所はありません。

実績としては、平成18年度の年間延べ利用回数は60回となっており、同じく平成19年度は36回、平成20年度は20回（見込）と非常に少ない実績数となっています。

訪問入浴サービスの利用実績

(単位：回)

区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度
利用延回数(回)	60	36	20
	0	0	0

(上段：居宅介護・下段：居宅予防・平成20年度は見込み)

訪問看護

【現状・評価】

訪問看護は、高齢者が住み慣れた地域や家庭で安心して療養できるために、かかりつけ医師の指示に基づき、看護師等が家庭を訪問し、療養上の世話または必要な診療の補助である看護サービスを提供するものです。

本町では、平成10年4月に横手地内に訪問看護ステーション「みささ」が開設し、退院後のケアにおいて大きな役割を果たしています。

実績としては、平成18年度の年間延べ利用回数は948回となっており、同じく平成19年度は828回、平成20年度は898回(見込)となっています。

今後、医療依存度が高い者の退院が増えることが予想されることや、早期段階で訪問看護サービスを利用することにより病気の悪化や予防をすることができる等訪問看護サービスのニーズは高まることが予想されます。

訪問看護の利用実績

(単位：回)

区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度
利用延回数(回)	948	828	898
	0	192	209

(上段：居宅介護・下段：居宅予防・平成20年度は見込み)

訪問リハビリテーション

【現状・評価】

理学療法士や作業療法士が居宅を訪問して、理学療法、作業療法その他必要なリハビリテーションを行うサービスです。

実績としては、平成18年度から平成19年度の年間利用がない状態でしたが、平成20年度には若干の利用があり今後、利用者が増えることが予想されます。

訪問リハビリテーションの利用実績 (単位：日)

区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度
利用延日数(日)	0	0	133
	0	0	0

(上段：居宅介護・下段：居宅予防・平成20年度は見込み)

居宅療養管理指導

【現状・評価】

居宅療養管理指導とは、医師、歯科医師、薬剤師等が居宅を訪問し、療養生活を送るために必要な管理や指導を行うものです。

平成18年度には59人、平成19年度には55人、平成20年度55人(見込み)の利用となっています。

居宅療養管理指導の利用実績 (単位：人)

区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度
利用延人数(人)	59	55	55
	0	0	0

(上段：居宅介護・下段：居宅予防・平成20年度は見込み)

通所介護サービス（デイサービス）

【現状・評価】

通所介護サービスは、日帰り介護施設（デイサービスセンターや老人福祉施設など）に通い、入浴、食事の提供等、日常生活上の世話、機能訓練を行うサービスであり、心身機能の維持を図り、介護者の負担の軽減を図ることを目的としています。

本町では、町社会福祉協議会及び福生会（三喜苑）平成16年4月に開設したみのり福祉会の3箇所で事業実施しています。

実績としては、平成18年度の年間延べ利用回数は15,900回となっており、同じく平成19年度15,732回、平成20年度16,952回（見込み）と年々増え、在宅介護サービスの中心的サービスとなっています。

通所介護サービス利用実績 （単位：回）

区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度
利用延回数（回）	15,900	15,732	16,952
	276	348	308

（ 上段：居宅介護・下段：居宅予防・平成20年度は見込み）

通所リハビリテーション（デイケア）

【現状・評価】

老人保健施設等において理学療法、作業療法、その他必要なりハビリテーションを行うサービスが通所リハビリテーション（デイケア）です。

実績としては、平成18年度の年間延べ利用回数は540回となっており、同じく平成19年度は732回、平成20年度859回（見込み）とデイサービスに比べると利用は少ない状況です。本町に老人保健施設がなく、周知不足や身近でない施設利用のため利用希望がないことが原因と考えられます。

通所リハビリテーション利用実績

(単位：回)

区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度
利用延回数(回)	540	732	859
	12	12	10

(上段：居宅介護・下段：居宅予防・平成20年度は見込み)

短期入所サービス(短期入所生活介護・短期入所療養介護)

【現状・評価】

短期入所生活介護(ショートステイ)は、要援護高齢者を介護している介護者が一時的に介護困難となった時、老人福祉施設に短期間入所させ、介護家族等の負担の軽減を図り、要援護高齢者及び家族の福祉の向上を図ることを目的としています。

本町では特別養護老人ホーム三朝温泉三喜苑が事業実施しています。実績としては、平成18年度の年間延べ利用日数は3,612日となっており、同じく平成19年度は3,264日、平成20年度3,428日(見込み)となっています。

一方、短期入所療養介護(ショートケア)は老人保健施設等において短期間、必要な医療及び日常生活の世話をを行うサービスですが、平成18年度の実績は144日、同じく平成19年度84日、平成20年度98日(見込み)となっており実績が非常に少ない状態です。

短期入所生活介護利用実績

(単位：日)

区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度
利用延日数(日)	3,612	3,264	3,428
	288	276	293

短期入所療養介護利用実績

(単位：日)

区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度
利用延日数(日)	144	84	98
	12	12	10

(上段：居宅介護・下段：居宅予防・平成20年度は見込み)

福祉用具貸与

【現状・評価】

日常生活の自立を助け、機能訓練に用いるための福祉用具、介護者の負担を軽くするための福祉用具を貸し出しするサービスです。

平成18年度から介護支援専門員は、福祉用具の居宅サービス計画位置付けに当たり、サービス担当者会議を開催し、必要な理由を記載することになっています。

特定施設入所者生活介護

【現状・評価】

有料老人ホームや養護老人ホーム等に入所している要介護者又は要支援者について、特定施設サービス計画に基づき、食事、入浴、排泄その他日常生活の世話、機能訓練・療養上の世話を行い、施設で能力に応じた自立した生活ができるようにするものです。

中部には、2箇所の養護老人ホームが指定をうけており、本町では現在2名の利用があります。

特定施設入所者生活介護実績

(単位：人)

区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度
利用延人数(人)	0	24	12
	0	0	0

(上段：居宅介護・下段：居宅予防・平成20年度は見込み)

(2) 福祉用具購入費の支給

【現状・評価】

要介護状態にかかわらず、年間10万円を支給限度額として、費用の9割が支給されるサービスです。最近の傾向としては、年間約25件で推移しており今後も同じ推移となる見込みです。

区分	平成18年度	平成19年度	平成20年度
給付件数	25	22	25
	7	5	11

(上段：居宅介護・下段：居宅予防・平成20年度は見込み)

(3) 住宅改修費の支給

【現状・評価】

心身の機能が低下した高齢者の家庭内での安全を確保するため、また介護者の負担を軽減するために住宅改修を行う場合は20万円を支給限度額として、費用の9割が支給されるサービスです。

近年は、入院中に相談があり、退院までに居宅での生活が万全にできるように改修するケースが増えています。

区分	平成18年度	平成19年度	平成20年度
給付件数	20	22	27
	5	8	15

(上段：居宅介護・下段：居宅予防・平成20年度は見込み)

(4) 居宅介護(予防)支援

【現状・評価】

ケアマネジャー(予防については、包括支援センター)が在宅介護(予防)サービスの内容について本人及び家族と相談し、計画(ケアプラン)を作成します。また、介護保険施設への入所が必要な場合は、施設への紹介を行うサービスです。

要介護(支援)認定者が多くなれば当然本事業の利用者が増えます。

居宅介護(予防)支援事業の利用状況 (単位:人)

区分	平成18年度	平成19年度	平成20年度
利用延人数(人)	1,920	1,848	1,993
	396	528	556

(上段:居宅介護・下段:居宅予防・平成20年度は見込み)

(5) 地域密着型サービス

認知症対応型共同生活介護(認知症老人グループホーム)

【現状・評価】

認知症高齢者のグループホームは、5から9名を1ユニットとして小人数で家庭的な雰囲気の中で、食事、買い物、入浴、排泄などの日常生活の支援や趣味活動、機能訓練など個々のペースに合った援助を行うことにより、認知症の進行が抑えられ、質の高い生活の実現を目指すものです。

現在中部地区には、21箇所のグループホームがあり、本町では平成16年4月にグループホームみのりかじか・みとく(2ユニット18名)が開設されました。

中部地区全体をみても平成16年頃から新設が相次いでおり利用者及び給付費が大幅に増加しています。

本町の入居者数は、平成20年2月末現在で20名(みのり15名・法改正前に町外施設を利用していた者5名)の利用があります。

認知症対応型共同生活介護利用実績

(単位：人)

区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度
利用延人数(人)	216	240	252
	0	0	0

(上段：居宅介護・下段：居宅予防・平成20年度は見込み)

小規模多機能型居宅介護

【現状・評価】

小規模多機能型居宅介護は、居宅で、またはサービスの拠点への通所や短期間宿泊により、入浴、排泄、食事等の介護、調理、洗濯・掃除等の家事、生活相談・助言や健康状態の確認など日常生活上の世話、機能訓練を行い能力に応じ居宅で自立した日常生活を営むことができるようにするものです。利用者(定員25名以下)を対象に、通いを中心として、利用者の様態や希望に応じて、随時訪問や宿泊を組み合わせるサービス提供することで居宅における生活の継続を支援します。

町内には、県内に先駆けて、平成18年6月に小規模多機能型居宅介護施設「なの花」が開設され、現在25名(1名町外)の利用があります。

小規模多機能型居宅介護利用実績

(単位：人)

区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度
利用延人数(人)	111	216	240
	6	47	48

(上段：居宅介護・下段：居宅予防・平成20年度は見込み)

認知症対応型通所介護

【現状・評価】

認知症の方が、日帰り介護施設等に通り、当該施設において、入浴、食事の提供等の日常生活上の世話、機能訓練を受けるサービスです。

平成19年度まで1名の利用者がありましたが、平成20年度からは利用がなくなりました。

認知症対応型通所介護利用実績

(単位：人)

区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度
利用延人数(人)	48	36	0
	0	0	0

(上段：居宅介護・下段：居宅予防・平成20年度は見込み)

下記のサービスについては、本町において3年間利用がないサービスです。

夜間対応型訪問介護

夜間において、定期的巡回や通報での訪問により、入浴、食事の提供等の日常生活の世話を受けるサービスです。

地域密着型特定施設入所者生活介護

定員の少ない有料老人ホーム等で、入浴、食事の提供等の日常生活上の世話、機能訓練及び療養上の世話を受けるサービスです。

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

定員の少ない特別養護老人ホームで、入浴、食事の提供等の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を受けるサービスです。

(6) 施設サービス

指定介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

【現状】

概ね 65 歳以上で、身体または精神上著しい障害があるため常時介護を必要とし、自宅で適切な介護を受けることが困難な者が入所する施設です。

本町には、平成 6 年度に三喜苑（70 床）が新設され、中部圏域においては、6 施設（入所定員 563 人）が設置されています。

主に町民が入所している特別養護老人ホームの概要（平成 20 年 1 月末現在）

施設名	設置主体・運営主体	所在地	定員	町の入所人員
三喜苑	（福）福生会	三朝町横手 396	70 人	4 4 人
巖城はごろも苑	（福）厚生事業団	倉吉市巖城 920	150 人	1 0 人
ル・ソラリオン	（福）敬仁会	倉吉市山根 55-3	135 人	8 人
倉吉スターロイヤル	（福）みのり福祉会	倉吉市福森町 433	68 人	1 人
百寿苑	（福）赤碕福祉会	琴浦町赤碕 1061-3	50 人	-
みどり苑	（福）立石会	琴浦町八橋 1937	90 人	-

特別養護老人ホームの入所状況（単位：人）

区 分	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
入 所 者 数	7 2	6 8	6 3

平成 20 年度については、平成 21 年 1 月末現在

特別養護老人ホーム整備状況（単位：床）

区 分	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
特 別 養 護 老 人 ホ ム	7 0	7 0	7 0

介護老人保健施設

【現状】

寝たきり又はそれに準ずる状態の高齢者が一定期間入所し、看護・医学的管理における介護および機能訓練、その他の必要な医療を行いながら、家庭や社会復帰を目指した日常生活上の世話をを行うことを目的とした施設です。

介護老人保健施設の入所状況 (単位：人)

区 分	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
入 所 者 数	3 0	3 1	2 6

平成 20 年度については、平成 21 年 1 月末現在

主に町民が入所している介護老人保健施設の概要 (平成 20 年 1 月末現在)

施 設 名	設置主体・運営主体	所 在 地	定 員	町の入所人員
ル・サンテリオン北条	(福医)仁厚会	北栄町土下 123 - 1	8 0 人	6 人
う つ ぶ き	(医)清和会	倉吉市上井 301	1 0 0 人	6 人
ル・サンテリオン	(福)敬仁会	倉吉市山根 55 - 3	1 0 0 人	5 人
の じ ま	(医)十字会	倉吉市瀬崎町 2714 - 1	1 0 6 人	5 人
ル・サンテリオン東郷	(医)敬仁会	湯梨浜町野花 443 - 1	8 3 人	2 人
ひ ま わ り	(医)至誠会	倉吉市関金宿 1891 - 1	9 8 人	1 人
ハ ワ イ 信 生 苑	(医)専人会	湯梨浜上浅津 58 - 5	6 0 人	1 人
セ ラ ト ピ ア	(医)誠医会	北栄町瀬戸 45-2	5 0 人	-

介護療養型医療施設

【現状】

介護職員が配置され、長期の療養に適した設備を備える施設であり、平成 21 年 1 月末現在で 1 施設 1 名の者が入所しています。

療養型医療施設の入所状況 (単位：人)

区 分	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
入 所 者 数	0	1	1

平成 20 年度については、平成 21 年 1 月末現在

主に町民が入所している指定介護療養型医療施設の概要 (平成 21 年 1 月末現在)

施設名	設置主体・運営主体	所在地	町の入所人員
上原クリニック	(医)上原クリニック	倉吉市堺町 2 丁目 962-2	1 人

3 福祉サービス（介護保険対象以外）

（１）在宅福祉サービス

食の自立支援事業

【現状・評価】

本町の配食サービスは、地域支援事業の任意事業で実施している配食サービス（夕食を週４回）事業と、町社会福祉協議会で実施しているボランティア団体（野菊の会 - 月３回、すみれの会 - 月１回、サンデークラブ - 月１回）の配食を実施しています。主に食事作りが困難な高齢者やひとり暮らしの高齢者に適切な食事を提供していますが、ボランティア団体においても、ひとり暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯を中心に行われており、対象者とその家族にとって大きな役割を占めています。

今後もボランティア団体と連携を図りながら介護保険内の地域支援事業の任意事業として継続していきます。

配食サービスの実施状況

（ア）地域支援事業の配食サービス（平成20年度は見込）

区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度
年間延べ利用者数	1,280人	1,011人	990人

（イ）ボランティアによる配食サービス（平成20年度は見込）

区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度
年間延べ利用者数	727人	804人	1,070人

外出支援サービス

【現状・評価】

要支援・要介護者を対象に、福祉施設や病院への移送を平成9年度から町社会福祉協議会に委託し実施していますが、運営方法等の実施方法については今後も検討を重ねていく必要があります。

現在の登録者数は91人（平成21年1月末現在）あり、週1回か、2週に1回の利用が大半を占めています。

外出支援サービスの実施状況（平成20年度は見込）

区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度
年間延べ利用者数	2,815人	2,289人	2,040人

高齢者居住環境整備事業補助金

【現状・評価】

介護を要する高齢者等の居住環境整備を促進し、生活の質を高め、在宅生活を支援するため、住宅の改良事業を実施する人を対象に助成を行なう事業です。

平成17年度からは対象者要件に「町民税・世帯非課税の者」を加えたこと、また、平成6年度から15年間実施している補助事業のため、対象者の住宅改修が一通り整備されたことにより利用者数が激減しています。

高齢者居住環境整備事業補助実施状況（平成20年度は見込）

区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度
補助利用者数	2人	2人	4人

緊急通報システム事業

【現状・評価】

緊急通報システムは、ひとり暮らし高齢者等が病気などの緊急時に簡単な操作で通報センターに自動通報できるシステムです。本町では、電話機による音声通報方式により連絡を取り合い、三朝町地域包括支援センターを拠点に、夜間は、社会福祉法人福生会「三朝温泉三喜苑」に委託し24時間対応できる体制を整えています。システム設置には近隣の協力員2名が必要で、普段の見守りおよび緊急時の対応の協力をお願いしています。

また、三朝町地域包括支援センターからの週1回の安否確認等によりひとり暮らし高齢者などの不安解消に大きく貢献しています。

緊急通報装置の設置状況

平成21年1月末現在の設置者数 48名

住宅改修指導事業

【現状・評価】

在宅の要援護高齢者等のために居宅等の改良を希望する者に対し、1級建築士が住宅改修に関する相談に応じ、指導・助言を行うとともに、介護保険制度（住宅改修費）等の利用に関する指導を行うことにより、在宅生活の維持、利用の負担の軽減を図る事業です。

施工業者と施行主との間に入ってトラブルを未然に防ぐ役割も果たしています。

住宅改修指導事業実施状況（平成20年度は見込）

区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度
年間実利用者数	2人	2人	4人

（2）施設サービス及び支援施設等

養護老人ホーム

【現状・評価】

概ね65歳以上で、身体上、精神上又は環境上の理由及び経済的な理由により居宅での生活が困難な者を入所させる施設です。中部圏域には「母来寮」「シルバー倉吉」の2施設があります。今後も県及び中部市町村との調整により、利用枠を確保していく必要がありますが、近年は、入所者数の横ばい状態が続いています。

町民が入所している養護老人ホームの概要（平成21年1月末現在）

施設名	所在地	設置運営主体	定員数	町入所者
母来寮	湯梨浜町上浅津 70	厚生事業団	130人	3人
シルバー倉吉	倉吉市福庭 2丁目 145	敬仁会	50人	1人

養護老人ホーム入所者及び入所待機者の推移

区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度
入 所 者	5	5	4
入 所 待 機 者	0	0	0

軽費老人ホーム（A型・B型）

【現状・評価】

経費老人ホームは低所得者層に属する60歳以上の者であって、家庭環境、住宅事情等の理由により居宅において生活することが困難な者を低額な料金で入所させる施設です。

中部圏域には該当施設ありません。

軽費老人ホーム（ケアハウス）

【現状・評価】

身体機能の低下が認められ、高齢等により独立して生活するには不安がある方が入所する施設で、生活相談等に応ずるほか入浴、食事の提供を行います。

本町には平成6年度に「ケアハウス三喜苑」15床が新設されています。

町内ケアハウスの概要（平成21年1月末現在）

施設名	所在地	設置運営主体	定員数	町入所者
ケアハウス三喜苑	三朝町横手 396	（福）福生会	15人	10人

町立福祉センター（地域福祉センター）

【現状・評価】

地域における福祉活動の拠点として各種相談、入浴、給食等の福祉サービス機能、機能回復訓練、創作的活動、ボランティアの養成、福祉情報の提供等を総合的に行う施設として平成4年度に横手地内にオープンしました。町社会福祉協議会の事務所としても活用しており、デイサービス事業はもとより「地区別老人の日事業」の実施など、連日多くの高齢者等が利用しています。

福祉センターの利用状況

年 度	入 浴	会議室	調理室	デイサービス	
				老 人	知的障害者
平成18年度	964人	4,224人	887人	9,364人	1,469人
平成19年度	989人	4,766人	914人	9,253人	1,511人
平成20年度	590人	4,200人	930人	10,410人	1,190人

健康センター

【現状・評価】

平成6年には三朝町総合文化ホールに保健機能を併設して健康センターが完成しました。現在、乳幼児等の健診や相談、フッ素塗布、母親学級、予防接種、各種の健康相談等、幼児から成人、高齢者まですべての年齢層に対する健康づくりの拠点として、利用されています。

4 民間の福祉活動

(1) 町社会福祉協議会の活動

社会福祉協議会は、地域の福祉課題の解決に取り組み、だれもが安心して暮らすことができる地域福祉の実現を目指して、住民の福祉活動の組織化、社会福祉を目的とする事業を推進する民間組織です。

町内の全世帯を会員として「福祉の町づくり」を目指し、在宅福祉活動 福祉教育活動 ボランティア活動 福祉関係団体の育成 その他さまざまな福祉活動に取り組んでいます。

超高齢社会が到来し福祉への関心が高まる中、生涯にわたって幸せな人生を生きることのできる社会の実現を目指して、社会福祉協議会の役割はますます大きくなっています。

社会福祉協議会の主な活動

在宅福祉事業（町委託事業）
福祉センター管理・運営
外出支援サービス事業
配食サービス事業
障害者地域生活支援事業

事務局を兼ねる福祉団体
老人クラブ連合会
身体障害者福祉協会
むつみ会（知的障害者育成会）
精神障害者家族の会
遺族連合会

その他の活動
ボランティア活動の推進
福祉大会の開催
レスポワ - ルまつりの開催
各種相談事業
住民福祉援護事業
募金活動の推進

在宅福祉支援活動
いきいきサロンの開催
地区別老人の日の開催
福祉用具の貸出・斡旋
生活福祉資金の貸付
介護教室開催

(2) 社会福祉法人「福生会」

平成6年に社会福祉法人福生会による「三朝温泉三喜苑」が横手地内に開設されました。特別養護老人ホーム、デイサービスセンター、ショートステイ、ケアハウス、三喜苑居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、ぼかぼかハウス（福生会独自事業）を併せ持つ複合施設であり、本町の施設、在宅福祉サービスの拠点施設の一つとして、大きな役割を担っています。より一層町民が使いやすい施設となるよう、また、円滑な法人運営ができ

るよう支援していくことが大切です。

施設の概要

特別養護老人ホーム	定員 70 名
デイサービスセンター	定員 40 名
ショートステイ	16 床
ケアハウス	15 床
訪問看護ステーション	
三喜苑居宅介護支援事業所	
ぽかぽかハウス（本泉に開設）	

(3) 社会福祉法人「みのり福祉会」

平成16年4月に社会福祉法人「みのり福祉会」によるグループホームみのりかじか・みとく（2ユニット18名）が開設されました。

認知症の高齢者対応施設として、利用者の認知症の症状の進行を緩和し、安心して日常生活を送れるよう利用者の心身の状況に配慮しながらサービス提供しています。

また、デイサービスセンターを併設しており、町内だけでなく近隣市町からの利用者もあり開設から5年目を向かえ、地域に根ざしたサービス提供がなされています。

(4) 社会福祉法人「愛敬会」

平成18年6月に「社会福祉法人愛敬会」による小規模多機能型居宅介護施設なの花（登録定員25名）が開設されました。小規模多機能型居宅介護施設として県内に先駆けて開設された施設であり、「通い」を中心に「訪問」「宿泊」の3サービスを兼ね備え、どのサービスを利用してもなじみの職員によるサービスが受けられ、また、地域に開かれた施設として町内外から注目をうけています。

(5) ボランティア団体

現在、町内で活動しているボランティア団体は26グループあり、321人が登録されています。町立福祉センターを拠点に活動しており、ひとり暮らし高齢者等への配食サービスやふれあい生き生きサロンなどを実施しています。

ボランティア団体の概要

グループ名	設立年	会員数	グループ名	設立年	会員数
野菊の会	S 54	25 人	こけしの会	H 9	11 人
グループせせらぎ	H 6	8 人	三朝町赤十字奉仕団	H 10	42 人
商工会女性部	H 5	24 人	もみじ	H 9	9 人
ひまわり会	H 3	5 人	まつば会	H 10	4 人
なかよし一座	H 7	7 人	坂本区ボランティア	H 10	22 人
竹の子会	H 7	5 人	ねむの木会	H 10	7 人
高勢地区ボランティア	H 7	18 人	上西谷コスモス会	H 11	14 人
すみれの会	H 7	10 人	うりなの会	H 11	3 人
サンデー倶楽部	H 7	21 人	とちの木グループ	H 15	7 人
虹の会	H 7	9 人	美和の会	H 9	6 人
アロエの会	H 6	16 人	大瀬区はなみずき会	H 16	13 人
つくしの会	H 4	11 人	山里の会	H 14	3 人
菜の花会	H 7	12 人			
さわやか会	H 9	9 人	合計 26 グループ		321 人